

平成28年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	4)行事用テントの貸出 行事用テントを町内会等へ貸出した。 13件 62張(16件 66張)	—	—
	5)2tトラックの貸出 2tトラックを町内会等へ貸出した。 75件(101件)	—	—
	6)町民防災講座の開催 町民防災講座を実施し、防災の意識向上を図った。 8月8日(月)札幌市民防災センター 30名参加 (8月3日(月)札幌市民防災センター 35名参加)	140,000	113,000
	7)砂まき機の貸出 凍結路面に砂をまく砂まき機を貸出した。 1件(1件)	—	—
	8)福祉機器の貸出 要介護状態で在宅生活を送るのが困難な方のために福祉機器を短期で貸出した。 車椅子 31件(33件) ポータブルトイレ 10件(5件) その他 1件(3件)	—	—
	9)ランドセルの贈呈事業 低所得世帯の小学校新入学児童に対し、ランドセルを贈呈した。 7件(1件)	51,000	50,556
	7 介護職員初任者研修の開催 1)高齢者社会に対応するための必要な知識、技能を修得するための介護職員初任者研修会を開催した。 1回 7月1日～11月28日 10名参加(26名参加) 2)過去のホームヘルパー養成研修修了生を対象に、技術と知識の向上のため継続研修を開催した。 12月8日 参加者40名(34名)	1,452,000	1,019,295
	8 母子・父子福祉活動支援 1)町内の母子・父子福祉団体を支援した。 ①白老町母子会	90,000	90,000
	9 障がい児・者福祉活動支援 1)町内の障がい福祉団体を支援した。 ①身体障害者福祉協会白老町支部 ②肢体不自由児者□父母の会 ③手をつなぐ育成会 ④ことばを育てる親の会 ⑤難病連白老支部	258,000	258,000

平成28年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	10 児童・青少年福祉活動支援 1)町内の児童・青少年福祉団体を支援した。 ①保護司会白老分区 ②社会を明るくする運動実行委員会	29,000	29,000
	11 ボランティア活動育成事業 1)ボランティア団体の活動を支援した。 ①婦人ボランティアグループ ②ボランティアグループ四ツ葉会 ③ヘルム39 ④白老小学校青少年赤十字	155,000	155,000
	12 社協活動啓発事業 1)社協だより「ほほえみ」の発行 社協だより「ほほえみ」を年4回発行し、社協活動の理解と協力を求めた。(5月、7月、10月、1月発行) 2)白老町社会福祉大会の開催 白老町社会福祉大会を開催し、福祉に対する理解と啓発を図った。平成28年8月6日(土)白老中央公民館 一般観覧者 約600名 (約700名) 3)社協ホームページやブログの開設 社協ホームページやブログで活動内容を紹介し、広く理解と協力を求めた。	538,000	365,149
		555,000	555,000
		—	—
	13 サロン事業の開催 1)三世代ふれあいサロンの開催 地域の高齢者や障がい者、子育て世代の方を対象に生きがいや仲間づくり、また、心と身体のリフレッシュを図ることを目的に開催した。 2月18日 参加者111名 (3月12日 参加者114名) 2)子育てサロンの開催 白老町4か所(白老、萩野、竹浦、虎杖浜)で子育てサロンを開催し子育て中の親子の交流を図った ・5月21日(土) 虎杖浜地区 30名(13名) ・8月27日(土) 竹浦地区 6名(8名) ・10月1日(土) 萩野地区 40名(13名) ・11月20日(日) 白老地区 108名(106名) 述べ184名参加(140名)	295,000	230,000
		115,000	100,000

平成28年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位：円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	3) 在宅高齢者ふれあいサロンの開催 病気などで閉じこもりになりがちな高齢者を対象に会食などを通じて楽しく社会交流を図るため、在宅高齢者ふれあいサロンを開催し、閉じこもりなどの予防をした。 ・7月20日 参加者22名(25名) ・11月16日 参加者20名(24名) 合計42名(49名)	54,000	41,750
	4) 認知症の人を支える家族の集いの開催 認知症の人を支える家族の集いを開催し、認知症家族会設立の為の支援をした。 ・7月11日 参加者 37名(25名) ・3月10日 参加者 36名(33名) 合計 73名(58名)	76,000	75,150
	5) 認知症介護者リフレッシュ事業を開催し、家族等の休息や悩みごとの解決の支援をした(登別万世閣)。 ・10月12日 参加者 14名(13名)	73,000	45,919
	14 資金貸付相談 1) 高齢者や障がい者、低所得世帯を対象に資金を貸付し、安定かつ自立した生活の支援をした。 生活資金相談件数 280件 (395件)		
	① 生活福祉資金貸付相談 (道社協受託金) 生活福祉資金貸付相談をし福祉向上に努めた。	214,000	202,500
	② 応急生活資金貸付 応急生活資金貸付を実施し、低所得者の福祉向上を図った。 20件(36件)	1,100,000	492,380
	15 法人運営事業 1) 理事会・評議員会、各委員会の開催	67,000	39,022
	① 理事会 年4回 ② 評議員会 年3回		
	2) 研修会等に参加し、役職員の資質向上を図った。	135,000	117,944
	3) 町民に社協活動の理解を広げ、事業や活動に賛同を戴き、会員の加入促進をする。	2,633,000	2,307,800
	① 会員会費 7,403戸1,480,600円(7,491戸1,498,300円) ② 賛助会費 1,114口 827,200円(1,205口 976,100円)		
	4) 地域福祉活動に有効活用する貴重な浄財の受付	1,900,000	1,323,671
	① 一般寄付金 10件 320,671円 (17件199,707円)		

平成28年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位:円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	②弔慰寄付金 30件 973,000円 (39件 942,000円) ③事業基金寄付金 0件 (0件) ④指定寄付金 1件 30,000円 (1件 23,000円)		
	ボランティアセンター事業		
	1 ボランティア運営委員会の開催 1)ボランティア活動の推進に関わる様々な事業の運営についてボランティア登録団体等が参画し協議した	5,000	3,333
	2 ボランティア育成と交流 1)ボランティア体験学習の実施 プログラムの中から自分に合ったボランティアの体験を通じてボランティア活動の普及を図った。 ①サマーチャレンジボランティア体験 7月27日(水)～8月2日(火) 計7日間 15プログラム 30名参加 (19プログラム 31名参加) ②冬休み学生ボランティア体験 12月26日(月)～28日(水) 1月5日(木)～6日(金) 計5日間 13プログラム 22名参加 (10プログラム 11名参加) 2)しらおい笑顔まつりの開催(社会福祉大会と同時開催) 町内で活躍しているボランティア団体の活動成果を発表した。 8月6日(土)開催 白老中央公民館 一般観覧者 約600名 参加者14団体91名 (一般観覧者 約700名 参加者13団体53名)	120,000	90,000
	3)ボランティア出前講座の開催 実施件数 22件(25件) ①高齢者疑似体験 小学校3件 中学校1件 高校1件 ②車いすの操作方法 小学校1件 高校1件 ③福祉の仕事と資格 高校1件 ④昔の遊び体験 保育園1件 ⑤点字点訳体験 小学校1件 ⑥手話体験 小学校1件 ⑦ふまねっと運動 高齢者クラブ等11件	237,000	167,000
	4)「ふまねっと運動」サポーターの育成 ふまねっとサポーター講習会を開催し、サポーターの育成を図った。 5月17日(火)開催 いきいき4・6 11名参加 (6月9日(月)開催 いきいき4・6 13名参加)	30,000	20,000
	5)「ふまねっと運動」体験会の開催(新規) ふまねっと運動に興味がある人を対象に体験会を開催し運動の普及を図った。 6月21日(火)いきいき4・6にて開催 8名参加 8月6日(土)社会福祉大会にて開催 35名参加 2月18日(土)ふれあいサロンにて開催 29名参加	118,000	95,162
		10,000	1,100

平成28年度 白老町社会福祉協議会事業報告書

拠点区分：地域福祉事業

(単位：円)

	サービス区分	予算額	決算額
	事業内容		
	3 カレンダーリサイクル事業 1)道内外の企業等の協力により、不用になったカレンダーを提供戴き、益金を活動資金として役立てた。 1月17日～20日(4日間) 益金 207,085円(204,589円) 愛の小箱募金へ 企業・団体・個人 152件 12,459点 (126件11,442点)	—	—
	4 愛の小箱募金及びリサイクル収集物品の受付 1)愛の小箱募金 16件 330,577円 (11件 328,802円) 2)物品預託 18件 8,661点 (32件 8,631点) 3)リングプル 60件 226.3kg (90件 294.1kg) 4)ペットボトルキャップ 96件 982.7kg (157件 1344.2kg) 益金16,367円 世界の子どもにワクチンを日本委員会へ 5)使用済み切手 10件 3,059g (20件 4,146g) 6)ベルマーク他 2件 10点 (3件 232点)	— — — — — —	— — — — — —
	受託事業		
	1 町内の福祉向上のため白老町より事業の受託 1)臓機能障がい者通院支援事業 腎臓機能障がい者通院支援事業を受託し、病院への通院を支援し患者や家族の負担軽減と健康の維持増進を図った。 登録者数 28名 (31名) 述べ移送患者数 8,052名(7,817名) 1日平均利用者 25.7名 (24.9名)	10,766,000	9,764,472
	2)高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業 高齢者世話付住宅に居住する高齢者に対し生活援助員派遣の受託を受け、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう支援した。 入居世帯 12世帯(12世帯)	1,502,000	1,438,659
	3)緊急通報システム事業 町内に居住する概ね65歳以上の虚弱高齢者宅などに緊急通報システムを設置し、急病などに備えた。 対象世帯 30世帯(31世帯) *本年度で事業終了	194,000	177,233
	4)電話サービス事業 町内の独居世帯或いは高齢者世帯などの安否確認や悩みごと相談などボランティア団体の協力を得て、電話サービスを行った。 利用者10名 延数257件	65,000	64,444
	5)介護講習会の開催 介護講習会で高齢者社会に対応し、多くの方に介護技術の習得を促進し、介護負担の軽減を図ることを目的に介護講習会を開催した。 12月7日(水) 参加者 46名(40名)	30,000	28,033